

# 第1回地域医療ネットワークの会

聖マリアンナ医科大学病院の看護相談が行っている退院調整・居宅療養調整支援は悪性腫瘍終末期の在宅緩和ケア調整、神経難病の病状進行を予測した生活調整、高齢者の服薬・生活管理支援が多くを占めております。そういった中で、退院後の生活全般を支援するためには、地域での多職種間の連携が必要となってきます。そこで、更なる地域医療のネットワーク強化を目的として、ネットワークの会を立ち上げることになりました。

平成19年11月15日第1回ネットワークの会を開催いたしました。

## ケーススタディ

胃癌終末期にある患者が、入院から自宅療養へ移行したケースについて  
当日7施設34名の参加がありました。

病状告知を受けて漠然とした不安を持つ本人と家族の状況・家族の仲での意見の相違、自宅での見取りということの希望や不安、多くの問題は退院する時点でも解決されないままであったが、地域でもバックアップが得られていました。

在宅診療医からは、家族とどうして行きたいかを一緒に考えているという意見があり、地域医療施設医からは、在宅療養の現状として、家族のみでのケアは難しいことも多く、SOSを出すように話をしているという意見がありました。

病院スタッフからは、ターミナルケアをしたいと思ってもなかなかできない現状について話がされ、その中でも話をすることの大切さを感じたという意見がありました。



参加者からも、この会に対する賛同の意見を頂き、またそれぞれの医療機関がその機能を果たすためには、地域医療ネットワークが必要という意見がありました。

開催参加者皆様の意見をもってこの会を

## 「地域医療ネットワークの会」

に決定いたしました。

これからも、地域医療ネットワークの強化を目的とし、  
地域医療関係者の皆様と情報交換・共有を図りたいと思っております。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

